



### 8 春日通り会

春日通りは、かつて春日銀座通りとして賑わった商店街でしたが、流通の  
 変革の流れの中で、次第に店舗数が減り、通りの名称も変更されました。  
 更に街の核となっていた大田区役所も移転し、通りは大型店に行く主婦や通勤の若者の姿ばかり  
 が目につくようになっていきます。しかし、メーカーの製品を販売する店は減りましたが、独自の  
 商品や技術、サービスを売り物にする店舗も増えています。高齢者宅への配達をする店もあります。  
 これからは、急速に進む高齢化や今はやりのグルメなど、新しいニーズに素早く対応できる  
 店が求められているのではないのでしょうか。「春日通りには高齢者に便利なサービスがあるよ、  
 旨いもんがあるよ」と評判になるような商店街になればと思っています。

### 9 白田坂下通り商店会

大田文化の森前から白田坂下までの約300メー  
 トル程のバス通りに沿った商店街です。

戦前、この白田坂下のバス停の近くに、映画「青い山脈」で一世を風靡した俳優  
 の池部良が住んでいました。

この商店街の業種は、飲食・理容・銭湯・住宅設備・豆腐・薬局・銀行・クリー  
 ニング・美容・食料品・病院・寝具・ファッション・幼稚園・福祉サービス・生花・  
 電気・その他と多岐にわたっていますが、それぞれ地域密着型のサービスや優れた  
 技能と技術力で近隣住民のさまざまな要望に応えています。

大きな社会構造の変化の中で、商店街としての機能を新たに見直し、現状維持か  
 ら再び活気を取り戻すべく活動中とのことです。



### 入二小バレーボール部、区長杯獲得!

昨年11月に「大田区小学校連絡協議会第32回親善バレーボ  
 ール大会」(通称区長杯)が行われ、我が入二小PTAバレー部は、  
 念願の優勝を果たしました。

区長杯まで2つの予選があるのですが、9月末に最初の予選(ブ  
 ロック戦)、次が11月初めの地区戦。それらを勝ち上がってよう  
 やく区長杯へたどりつきます。

前年度は準決勝で負けてしまったので、今回はぜひ優勝した  
 い!!とチーム一丸となって戦いました。そして決勝戦。皆、あち  
 こちに痛みをかかえながらも必死にボールを追いかけ、つないで  
 とがんばりました。ベンチまわりは、たくさんの方が私たちの為  
 に声をからして応援をしてくれていました。本当に心強かったで  
 す。こうして皆でつかんだ優勝です!!

最後になりましたが、私たちのことを支えて下さっている監督・  
 コーチ、OGの皆さん、校長先生をはじめPTAの方々、そして家  
 族の皆への感謝の気持ちを忘れず、これからも楽しくバレーを続けていき  
 たいと思います。本当にありがとうございました。  
 (バレー部部长)



### 編集後記

この53号では、新井宿特別出  
 張所管内の身近な商店街を紹介し  
 ております。地域を見直すキッカ  
 ケとなり、地域の活性化、地域振  
 興につながってほしいとの願いを  
 こめて。

尚、新井宿五丁目町会の編集委  
 員、谷口は、今号をもちまして、  
 加藤弘子さんにバトンタッチいた

します。7年間にわたり充実した  
 時間を過ごさせていただきました。

主に子育て支援関係を担当し、  
 取材先の保育園、児童館、キッズ  
 な大森、学校などあたたかいご協  
 力を賜りましたことにあらためて  
 感謝申し上げます。ありがとうござ  
 いました。(谷口編集委員)

### 受賞おめでとうございます

#### 大田区政功労者賞

##### ◆消防団員30年以上

小宮 常三郎 若山 紘  
 仲 喜久雄

##### ◆自治会・町会

(会長・副会長) 10年以上  
 渡部 作次 岩井 信二郎  
 吉田 一 渡辺 治雄  
 浦野 栄一

##### ◆地区まちづくり協議会(会長) 10年以上

浦野 栄一

##### ◆青少年委員10年以上

水島 玲子

(敬称略)

発行 地域力推進新井宿地区委員会  
 編集 「わがまち新井宿」編集委員会

山王三・四丁目自治会	編集委員長	高橋 紗英子
新井宿五丁目町会	副編集委員長	谷口 敏子
山王三丁目東自治会	編集委員	荒木 秀樹
山王三・四丁目自治会	編集委員	大瀧 真理子
山王三丁目町会	編集委員	荒井 壽子
中央一丁目町会	編集委員	齋藤 香子
中央四丁目町会	編集委員	若生 一順
新井宿六丁目町会	編集委員	河原 神風代
新井宿七丁目町会	編集委員	石田 小夜子

……共同編集……  
 監修 新井宿自治会連合会  
 事務局 大田区新井宿特別出張所  
 大田区中央4-31-14 ☎3776-5391  
<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>



入二小3年 天野大介さんの作品  
 「クロッキー」

あおき たま かえ うち  
 ~新井宿ゆかりの文学紹介~ 青木 玉著『帰りがかった家』(講談社刊)



昭和11年4月の桜の季節に、青木玉は両親とともに小石川区表町から大森区新井  
 宿二丁目(現・大田区山王四丁目)のアパートに引越し、入新井第三尋常小学校(現・  
 山王小学校)に入学しました。そのアパートは当時としては珍しい外国人向けのア  
 パートで、そこで1年数ヶ月の間暮らしました。

青木玉は昭和4年11月に幸田文と三橋幾之助の長女として東京に生まれ、明治の  
 文豪幸田露伴の孫にあたります。現在、その幸田露伴と幸田文は共に池上本門寺の  
 五重塔のそばに眠っています。

小学校では、病弱だった玉は受持ちの先生の適切で暖かな指導に助けられます。  
 文はこの先生に受持ってもらえたことは大きな支えになったと、入学後わずか一年  
 数ヶ月で麹町区(現・千代田区)に転居したにも関わらず、小学校を卒業した時に  
 改めてこの先生を訪ね、無事に卒業できたとお礼を述べたとのことです。

一家はのっぴきならない事情で昭和12年の夏休みを待たず麹町区に転居しましたが、玉は夏休みまでの  
 間、定期を首からぶら下げてバスと省線(現・JR線)を乗り継いで学校のある大森まで通いました。病氣  
 がちの玉にとって、毎日がたった一人の大旅行であったと述懐しています。

この作品の中の「大森の日」という章に当時の新井宿の風景が生き生きと描かれています。

- 風景1<射的場>- 「近くに射的場だったあとの起伏に富んだ原っぱがあった。朝、父が出掛けたあと、母  
 は私を連れて、よくそこへ散歩に行った。」(引用)-現在の“大森テニスクラブ”を含む広大な敷地にあつ  
 た通称“大森射的場”のことで、この原っぱで母と摘み草をしたことなどが書かれています。
- 風景2<省線のガード>- 「母と一緒にお使いにゆくのは楽しい。でも省線のガードの下を歩いているとき、  
 頭の上を電車が走るのは、すごい音と震動で怖くて仕方がない。母は平気で笑っているが、私はいつ  
 も駆け抜けて向う側で待っていた。」(引用)-このガードの説明は不要ですね。
- 風景3<駅前の急な石段>- 「駅の前に急な石段がある。途中に踊場があって、それを上るとお宮さんが  
 ある。」(引用)-このお宮とは天祖神社のことで、ここの石段を教材に算術(算数)の稽古をさせら  
 れたとのこと。天祖神社は江戸時代には“神明社”と呼ばれていたようです。

おわりに、幸田文と新井宿との浅からぬ縁を感じさせるエピソードを紹介します。昭和40年頃に、なん  
 と入新井第二小学校で幸田文の講演会が開かれたというのです。「PTA会誌・創立60周年記念特集号」に掲  
 載された武田キミ先生の寄稿文の一節です。

『国語の時間に生まれた“アカ”の感想文。主題に迫るすばらしい感想文、作者の幸田文先生に差し上げた  
 くなりました。「子どもたちに会いたいわ。」一ヶ月程して、銀鈴のような、お声でお返事をいただき、幸  
 田文先生の講演会が、突然実現し先生もびっくりしました。幸田文先生との記念写真、今も私の宝物です。』

当時“アカ”は大田区立小学校の6年の教科書に掲載されていました。幸田文初期の作品で自身の愛犬と  
 の思い出が綴られています。感想文を書いたのは現在50代後半の方と推測されます。もしかしたらこの情  
 報紙の読者の中におられるかもしれません。是非、編集委員会までご連絡いただきその当時のことを教えて  
 いただけたらと思います。

今回取り上げた作品は、ほとんどの大田区立図書館に所蔵されていますので、是非ご一読ください。



### 1 山王ハーモニーAVE

～暮らしに素敵なハーモニーを～

江戸以前から平間街道として知られた池上通りの闇坂入口周辺には、道沿いに柳があったことから柳本通りと呼ばれ、柳会、通称 山王ハーモニーAVEという商店街があります。

大正後期から昭和初期にかけて大森に集まった文士や芸術家たちが通った葡萄屋、「あら素敵！」とつい立ち止まって見てしまう専門店や店先ギャラリー、訪問診療もある医院、明るいチームプレーの美容院、店先から春が飛び出しそうな花店、坂道スイスイの電動自転車店、銘酒がずらりの酒店など暮らしを素敵にさせてくれる昔からのお店や新しいお店が並んでいます。季節のお花でいっぱいの歩道の花壇、思わず「可愛い？」と顔がニコリ。

7月は七夕祭り、8月は盆踊り、11月には山王ハーモニー秋祭りを開催、豪華景品がたくさん当たる抽選会は好評で遠くからも参加しています。ぜひ散歩ショッピングにお出かけください。



# 紹介します！新井宿地区の商店街

地元にある9つの商店街を訪れました。桜咲くこの季節、商店街散策を楽しみながら地元のいいもの・いいところを発見しませんか？

### 2 大森柳本通り商店街振興組合

取材時には募集中であった新アーケードの名称も今号が配布されるころには決定していることでしょう。夏の日ざしをさえぎる電動のルーバー（日除け）つき。商店街に取り付けられるのは日本で初めての試みだそうです。往来する人への優しい気配りがうかがえます。



戦後すぐにできた商店街。唐辛子屋さん、金物屋さんといった老舗が、だんだん店じまいして寂しい気もします。後を継ぐ若い世代の発想と行動力で、楽しいイベントや工夫した品揃えなど、地元のみならず、近隣の買い物客で賑わう新しいアーケードになるように期待しています。

### 3 山王ココ



アーケードフラッグが目印の商店街。このフラッグは、東京大学と首都大学東京の学生が参画して、商店街と地域の人たちのコミュニケーションのきっかけになるように始めたそうです。商店街のお気に入りポイントをお客さんにインタビュー、山王ゆかりの文士足跡めぐり、大森山王で守っていききたい「大森山王ルール」など、テーマにして取り組んできました。そのほかイベント、お店情報も発信。元気で楽しいショッピングアーケードを目指しています。どこの商店街も直面している課題ですが、後継者問題、空店舗の対策など難しいこともあると思います。それぞれの創意工夫で解決につなげてほしいものです。商店街の元気は、地域の活性。みんなで応援したいと思います。

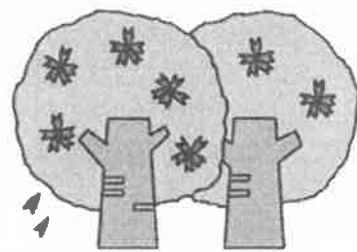
### 4 山王三丁目商店街（三番街）



春日橋から大森駅に向かう池上通りの左右に並ぶ商店街の名称です。百貨店、郵便局・ガス会社・病院・本屋・インテリア・提灯店・花屋・信用金庫等、生活に密着した店の集まりです。明るく、安心、安全、何でも地元で揃います。

理事長のお話「平成10年に第2代アーケード建設、現在会員36名、準会員数1名、16年続いた各種のイベントもスペースがなくなり休止状態。空き店舗もほとんど無いのが今日です。忠実に品良くがこの商店街のプライドです。」

取材をして気づいたこと、店舗入れ替えが有っても空き店舗が無いのがすごい。今後、百貨店の完成によってますます人の流れも増し、商店街が一つになり大きなイベント等実現したらいいなと思いを馳せてみました。



### 5 新三実用センター

新三実用センター

池上通りの東京ガス横から環七通りへ至る商店街です。私が大森に転入してきた当時は、マーケット・肉屋・魚屋・八百屋等、それは活気のある町でした。その頃は42店舗。現在は、大型店の影響や、後継者難等の理由で閉店し、しもた屋となってしまう、会長、副会長、会計、監査等5名は必要だが、引き受けてくれる人もいないと言う厳しい現状ですと会長のお話を聞くことが出来ました。しかし昼食時にはたくさんの人が集まる食堂と、クリーニング店・八百屋・歯科医・スナック・花屋等の8店舗ですが、今年はまだ一店舗増えると聞き、こじんまりした街の中に息吹を感じました。新三実用センター通りは、交通規制の許可も得ていると会長さんが話していたので、今後、他の所とは違うイベント企画が実行されることを期待します。

### 6 春日橋くすの木通り商店会

愛称・カンフリエ通り



大田区の木“クスノキ”にちなんだ名の商店街。区役所の移転に伴い、公募により、区役所前通り商店会から、商店街の街路樹でもあるこの名称に改称。飲食・旅行・葬祭・電気工事・会計事務所・チケット販売・理髪・駐車場・靴・フォトスタジオ・たばこ・喫茶・クリーニング・ガソリンスタンド・不動産・医院・そば処、また一歩池上通りを入った郵便局・看板・新聞・カフェなどもお仲間多彩な顔が揃っています。

区商連への加入は新しく、平成21年。主な活動は、明るい街の街路灯の維持と大田文化の森運営協議会の行事を街路灯を使っての公報。今後は成長めざましく、たくましい樹形のくすの木にあやかり地域力推進の牽引役を目指したいと思います。

### 7 観音通り共栄会

通称・観音通り商店街



夕暮れになると観音通りは、街路灯とイルミネーションで見事に美しく輝き、まちなみを明るくしてくれています。観音通り共栄会は、このイルミネーションや落語会の開催など、商店街独自の取り組みにより、去年の10月に大田区商店街、グランプリ賞の「がんばっているで賞」を受賞しています。

共栄会会長の酒井さんから、「立地条件で言えば駅周辺の商店街と違ってひとなみは少なく、不況風の昨今とても厳しいが、地域活性の為にイベントには力を入れている。商店街と町会の活性は地域繁栄につながっていくので出来る事は協力しています」等伺いました。共栄会の皆さんがしっかり取り組んでいることが伝わってきます、春は桜の花咲く人情味あるまちなみは「がんばっているで」と感じました。



◆特集に関するお問い合わせ先…わがまち新井宿編集委員会事務局 電話3776-5391

⑧・⑨は4面に続く